



加治川小だより

新発田市立加治川小学校 第1号
新発田市上今泉 366 番地 1 Tel 33-2435
児童数 202 人 (R 7.4.11 現在)

ホームページアドレス <http://kajikawa-e.shibata.ed.jp/>

瞳輝き、笑顔あふれる加治川小学校に

校長 丸山 久志

春風に迎えられ、1年生が加治川小学校に入学いたしました。学校に元気を与えてくれる1年生が加わり、加治川小学校の教育が本年度無事スタートしたことを御報告いたしますとともに、感謝申し上げます。



7日(月)に新任式、始業式、8日(火)には入学式で41名の1年生を迎えました。御来賓の皆様やお家の方々に祝福され、暖かな陽差しの中、加治川小学校の一員となった1年生は、きらきら輝く笑顔でした。

6日から春の全国交通安全運動が始まり、子どもたちは地域の方に見守られながら、安心して登校することができています。学校前の交差点でも交通安全協会の皆様や地域の方々が、横断歩道を誘導してくださったり、「おはようございます」「いってらっしゃい」と声を掛けてくださったりしています。NPO法人加治川のバスには新一年生の入学と在校生の進級を祝うメッセージが貼られています。朝のこれらの様子からも、私は、子どもたちが地域に支えられていることを深く感じ、感謝せずにはられません。

地域には教室では学べないことがたくさんあります。人との出会いが子どもたちのこれからの人生を豊かにします。202

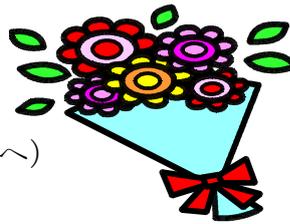


名の子どもたちが「地域が好き」「友達が好き」「自分が好き」こんな思いがもてる学校を皆様方と一緒に創っていきたいと思っています。

入学式では、やや緊張気味の41名の1年生でしたが、一日一日と学校生活にも慣れ、友達も増え、次第に行動範囲も広がってきているようです。2年生から6年生も新しい学年を迎えて、表情に希望があふれています。休み時間になると、グラウンドには子どもたちがいっぱいになり、走ったり、ボールを蹴ったり、お話をしたりして、元気に賑やかに過ごしています。体育館でも、ドッジボールをしたり、鬼ごっこをしたりしています。のびのびと休み時間を楽しむ子どもたちの姿は、加治川小学校の宝物です。

令和7年度1学期を、この元気な姿で始めることができ、とてもうれしく思います。

大変お世話になりました



<令和6年度転退職職員>

- ・佐藤 香織教頭 (村上市立神納小学校へ)
- ・村山 敦子先生 (御退職)
- ・宮村 治子先生 (新発田市立外ヶ輪小学校へ)
- ・邊見香代子先生 (新発田市立豊浦小学校へ)
- ・神藏知奈美先生 (阿賀野市立水原小学校へ)
- ・斉藤 郁先生 (新発田市立七葉小学校へ)
- ・藤田 雅之用務員 (御退職)
- ・長谷川正美運搬員 (御退職)

「よろしくお願ひします」

<令和7年度転入職員>

高澤 元 渡邊 輝
羽田野汐音 小島萌々花
小形 希 河内 友理
櫻井 典子 小野 堅一
坂上 京子 小林 昌子
山口 郁恵

【5月の予定】

- 2日 (金) 1年心臓検診
- 3日 (土) 憲法記念日 (祝日) 4日 (日) みどりの日 (祝日)
- 5日 (月) こどもの日 (祝日) 6日 (火) みどりの日振替休日
- 7日 (水) 全校応援練習 5・6年係児童打ち合わせ
- 8日 (木) 全校応援朝練習 運動会全体練習 選手リレー練習
- 12日 (月) 全校応援朝練習 運動会全体練習
- 14日 (水) 桜っ子朝会 (応援) 運動会予行練習 尿検査①
- 15日 (木) 全校応援朝練習 予行練習予備日 選手リレー練習
- 16日 (金) 給食後下校 地域帰り 運動会前日準備
- 17日 (土) 大運動会 引き渡し訓練 18日 (日) 大運動会予備日①
- 19日 (月) 振替休業日 (大運動会)
- 20日 (火) 眼科検診
- 21日 (水) 4年校外学習 (小柳産業) 5年田植え 委員会
- 22日 (木) 交通安全教室
- 23日 (金) 尿検査② 6年教育講演会参加 (加治川中)
- 24日 (土) 運動会予備日② 25日 (日) 運動会予備日③以降平日順延
- 26日 (月) 授業3限下校 読み聞かせ (下学年)
- 27日 (火) 2年校外学習 (養泉寺) 5・6年プール清掃
- 28日 (水) 3年校外学習 (カーネーションハウス) クラブ
- 29日 (木) お口の健康教室 プール清掃予備日
- 30日 (金) 給食後下校 地域帰り



2つのチャレンジ

始業式で子どもたちに、進級した喜びに満ちあふれている今のやる気を大切にして、
①授業と②友達の2つのことをがんばっていきましょうと話しました。

たね そだ
種を育てる

① 授業について



べんきょうのたね
勉強の種

「分からないこと まちがい 失敗」は、
はずかしくありません。これらは大切な**勉強の種**です。
授業ではこの勉強の種（分からないこと まちがい 失敗）
を育てていきますと、子どもたちに話しました。

分からなくてもはずかしいことではない、むしろ
分からないのが当たり前。失敗をおそれず、安心して
間違えることのできる雰囲気の中で、子どもたち
が自分なりの考えをもち、友達と考えを伝え合いながら、楽しく学
び合う授業を目指していきます。今年度も、子どもたちの主体性を
伸ばすための「対話」を大切にしながら職員研修を積み重ねてまい
ります。

② 友達について

「お世話をする活動」「友達や家の人の役に
立つ活動」の体験を積み重ねて「認めても
らってうれしかった」「役に立ててよかった」
「クラスや委員会で自分は必要とされている」
という気持ちを多くの場面で感じてほ
しいことを話しました。そうすることでよ
り自分に自信をもち、安易な問題行動に走る
ことを抑止したり、危険なものに近づいたり
することを抑制する働きをもちます。そして、
「いじめなんかしてられない！」という考え
が子どもたちの心に深く根付きます。

学校では、授業中や桜っ子班活動（縦割り
活動）、あいさつ運動、委員会活動などで一
人一人に役割をもたせ、活躍させます。自分
の力で最後までやり遂げさせ「やった」とい
う成就感と自信を獲得させます。失敗もチャ
ンスと捉え、結果よりも努力を認め、褒め励
まします。そして、失敗した時に周りの子ど
もたちの許容的雰囲気育てていきます。

家庭においては、次のことを意識してお子さんと接していただきたいと思います。

- ・スキンシップを通して温かさを伝えること
- ・親子で一緒に過ごす体験をすること
- ・褒める、励ます、認める声かけをすること・・・ などです。

学校と家庭・地域が連携してこのような取組を行うことで、子どもたちは、人との絆
や社会とのつながりを感じとりながら心が育っていくものと確信しています。

